



## 2020年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月14日

上場会社名 (株)オンリー  
 コード番号 3376 URL <http://www.only.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村直樹

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部チーフ (氏名) 廣瀬 礼

TEL 075-354-4129

定時株主総会開催予定日 2020年11月25日

配当支払開始予定日

2020年11月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年11月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期の連結業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	5,348	26.2	30	95.3	221	72.1	101	79.8
2019年8月期	7,242	1.6	642	6.7	794	12.6	500	12.1

(注) 包括利益 2020年8月期 101百万円 ( 79.8%) 2019年8月期 500百万円 ( 12.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年8月期	20.81		1.5	2.5	0.6
2019年8月期	102.87		7.6	9.8	8.9

(参考) 持分法投資損益 2020年8月期 百万円 2019年8月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期	9,562	6,744	70.5	1,395.64
2019年8月期	8,313	6,793	81.7	1,395.95

(参考) 自己資本 2020年8月期 6,744百万円 2019年8月期 6,793百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年8月期	370	176	1,656	2,919
2019年8月期	613	57	209	1,810

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年8月期		0.00		31.00	31.00	150	30.1	2.2
2020年8月期		0.00		7.00	7.00	33	33.4	0.5
2021年8月期(予想)		0.00		7.00	7.00		33.8	

### 3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	26.7	45	85.8	50	87.9	0		0.00
通期	5,000	6.5	10	66.8	200	9.7	100	1.2	20.69

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期	5,972,000 株	2019年8月期	5,972,000 株
期末自己株式数	2020年8月期	1,139,582 株	2019年8月期	1,105,082 株
期中平均株式数	2020年8月期	4,864,264 株	2019年8月期	4,866,918 株

(参考) 個別業績の概要

2020年8月期の個別業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	4,423	28.0	68	119.9	195	66.4	102	72.5
2019年8月期	6,147	1.8	342	18.7	581	18.1	373	18.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期	21.11	
2019年8月期	76.81	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年8月期	8,518		5,783		67.9		1,196.77	
2019年8月期	7,215		5,831		80.8		1,198.18	

(参考) 自己資本 2020年8月期 5,783百万円 2019年8月期 5,831百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
(4) 事業等のリスク .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	13
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	14
(1) 貸借対照表 .....	14
(2) 損益計算書 .....	16
(3) 株主資本等変動計算書 .....	17
(4) 個別財務諸表に関する注記事項 .....	19
(継続企業の前提に関する注記) .....	19
(追加情報) .....	19
5. その他 .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する分析

#### ① 当期の経営成績

当連結会計年度における我が国経済は、2019年10月の消費税増税や米中の貿易摩擦の長期化に伴う世界経済の減退に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が経済活動の低下と企業収益の減少に大きな影響を与えており、長期化することが懸念されております。

紳士服市場におきましては、スーツ着用人口が減少していることに加えて、外出自粛やテレワークの導入促進に伴いワークスタイルの多様化が一層進んでおり、依然として厳しい状況が続いております。

こうした状況の中で、当社グループは、「笑顔」、「感謝」、「清掃・整頓」を行動理念に掲げ、顧客満足の最大化を目指して、以下のとおり取り組んでまいりました。

商品面につきましては、トレンド感やクオリティを追求した「ONLY PREMIO」コレクションの展開を強化して、高感度の顧客層の獲得や買上単価の増加に取り組みました。「オンリープレミオ東京」では、ブランド価値の向上を図るため2月までは独自のイベントを多数実施し、スーツの採寸イベントでは女性向けに男性用の型紙で仕立てるオーダースーツが好評を得ました。また、自社ECサイトにつきましては、3月以降はテーラーメイドスーツやミニマルオーダースーツに加えて既製品の取り扱いを増やすことで販売の拡大を図っております。

販売店舗につきましては、政府や自治体からの各種要請等を踏まえ、4月、5月は大部分の店舗で臨時休業や営業時間短縮を実施し、特に4月中旬から5月上旬には一部を除く全店舗が休業しました。営業再開後も営業時間短縮や人員数の調整等を実施するなど通常営業ができない状況が続きました。店舗数につきましては、4月にイタリアを中心にセレクトしたインポートブランド商品とテーラーメイドスーツを融合した新店舗「エディットアンドオンリー」を東京銀座に出店したこと等により、「オンリー（オンリープレミオ東京、オンリープレミオ、オンリー京都テーラー、オンリーウィメン、エディットアンドオンリーを含む）」は2店舗の出店、5店舗を閉店して34店舗、アウトレット販売等を行う「スーツアンドスーツ」は5店舗の出店、1店舗を閉店して23店舗となりました。

以上により、当連結会計年度末の当社グループの店舗数合計は57店舗となりました（前期末比1店舗増）。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、外出自粛や営業時間短縮及び臨時休業の影響により53億48百万円（前期同期比26.2%減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、臨時休業等により、販売促進費、旅費交通費が減少したことなどにより31億85百万円（同17.2%減）となりました。

利益面につきましては、営業利益は30百万円（同95.3%減）、経常利益は営業外収益に受取賃貸料2億48百万円を計上したことなどにより2億21百万円（同72.1%減）となりました。また、助成金などを特別利益に臨時休業等による収入として1億63百万円計上、一方で臨時休業期間における固定費（人件費・地代家賃・減価償却費）を特別損失に臨時休業等による損失として1億84百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、1億1百万円（同79.8%減）となりました。

なお、当社グループは紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

#### ② 次期（2020年9月1日～2021年8月31日）の見通しについて

次期の業績につきましては、依然として非常に厳しい状況が続くと想定しております。一部店舗の閉鎖や各種経費を削減する一方で、好条件な場所への出店は積極的に行いたいと考えております。また、商品構成の見直しについても継続して実施します。テーラーメイドスーツやミニマルオーダースーツについても、WEBを活用した告知活動を強化することで、全社での売上・利益の獲得を目指します。

これらのことから、連結売上高50億円（当期比6.5%減）、連結営業利益10百万円（同66.8%減）、連結経常利益2億円（同9.7%減）、連結の親会社株主に帰属する当期純利益については1億円（同1.2%減）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末におきまして、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による先行き不透明な状況に備え手元資金を確保するため、新たに20億円の資金調達を行っております。

当連結会計年度末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12億49百万円増加し、95億62百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ11億40百万円増加して49億1百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が借入等により11億8百万円、商品及び製品が69百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、主に不動産の取得により、土地が2億29百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億9百万円増加し、46億61百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ12億99百万円増加し、28億18百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億47百万円増加し、10億94百万円となりました。主な変動要因は、1年以内返済予定長期借入金が6億68百万円増加した一方で、買掛金が1億99百万円、未払法人税等が1億7百万円それぞれ減少したことによるものであります。また、固定負債につきましては、長期借入金が11億38百万円増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ11億51百万円増加し、17億23百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ49百万円減少し、67億44百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益を1億1百万円計上した一方で、前期の期末配当1億50百万円を実施したことにより、利益剰余金が49百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、営業活動により3億70百万円減少（前期比9億84百万円減）、投資活動で1億76百万円減少（同1億18百万円減）し、財務活動により16億56百万円増加（同18億65百万円増）いたしました。その結果、前連結会計年度末に比べ11億8百万円増加（同7億63百万円増）し、当連結会計年度末の資金残高は29億19百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は3億70百万円（前期比9億84百万円減）となりました。これは、主に法人税等の支払額2億15百万円等によるものでありますが、税金等調整前当期純利益1億76百万円、減価償却費2億72百万円等の増加要因に一部相殺されております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億76百万円（前期比1億18百万円減）となりました。これは、主に有形固定資産取得による支出4億10百万円、差入保証金の支払いによる支出33百万円等によるものでありますが、投資不動産の賃貸による収入2億80百万円等の増加要因に一部相殺されております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は16億56百万円（前期比18億65百万円増）となりました。これは、主に借入れによる20億円の増加要因によるものであります。

なお、キャッシュ・フローの指標は次のとおりであります。

	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期 (当期)
自己資本比率(%)	75.5	79.5	82.4	81.7	70.5
時価ベースの自己資本比率(%)	60.3	52.5	55.0	47.5	25.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.8	0.3	0.0	0.0	△4.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	108.2	213.2	804.3	5,283.3	△127.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。

（注3）営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上している負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主各位に対する安定的かつ継続的な利益還元を重要政策の一つとして考えております。将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保の充実に努めるとともに、配当につきましては、連結業績に連動した利益配分の水準を明確にするため、親会社株主に帰属する当期純利益の30%前後を配当性向の目安に設定し、経営環境や事業戦略、財務状況等を考慮の上、年1回期末に実施していくことを基本方針としております。

当期(2020年8月期)の期末配当金につきましては、連結当期純利益が当初見通しを上回ることであったため、2020年4月13日に公表しておりました配当予想1株当たり6円00銭から1円増額し、1株当たり7円00銭(配当性向33.4%)といたします。

また、来期(2021年8月期)の期末配当金につきましては、配当方針に基づき、1株当たり7円00銭(配当性向33.8%)を予定しております。

(4) 事業等のリスク

当社グループの経営成績、財政状態及び株価等に影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。なお、文中の将来に関する事項は、提出日現在において当社グループが判断したものであります。

① 事業内容について

イ 需要見込みの変動リスクについて

当社グループの商品仕入計画の実行時期については、お客様の商品への需要動向及び商品在庫状況等を把握した上で、概ね6ヵ月前に商品企画及び仕入・生産委託計画の実行を行っております。そのため当社グループにおいては、常に仕入・販売・在庫計画の実需予測に基づく計画とその実績の乖離要因、及び精度向上に努めておりますが、お客様のニーズに合った商品を提供できなかったこと等の要因によりお客様の需要との乖離が顕著に発生した場合には、結果として製品や商品在庫の陳腐化等により当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

ロ 店舗展開について

当社グループは当連結会計年度末(2020年8月31日)現在57店舗を運営しております。現在は集客力のある都心部路面店及び商業施設への出店が中心になっており、今後も都心部路面店及び都心商業施設への出店に注力していく計画です。ただし、店舗物件で当社の出店条件に合致した物件がなく計画通りに出店できない場合には、計画通りの売上が計上できない可能性があります。また、商業施設の集客力低下等の既存店舗立地環境の変化等により収益性が低下して退店が必要となった場合には、計画通りの売上が計上できないことに加えて、固定資産除却損を計上する可能性があります。

従って、これらの要因が当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

ハ 他社との競合について

当社グループの主力商品である紳士服は、百貨店、量販店、専門店等において販売されており、価格及び品揃えにおいて厳しい競争にさらされております。このような状況の下、当社では新しい商品ブランド及び店舗業態として「ONLY」ブランドを展開して他社との差別化に努めておりますが、今後も紳士服市場における競争は継続していくものと考えられます。従って、この要因が当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

ニ 人材の確保、育成について

当社グループの主力商品である紳士服の販売では、お客様毎の体型にあった商品を提案するための商品知識や、お客様の着用シーンにあった着こなしの提案をするための販売技術が必要になります。当社グループでは、全従業員を対象に「恩利塾」という社内教育制度を設けて従業員の能力向上に努めておりますが、当社の計画通りに人材育成ができなければ、店舗の販売力が低下する可能性があります。

また、従業員の採用については、新卒採用と中途採用の両方で採用活動を行っておりますが、当社の計画通りに従業員を採用することができない場合には、店舗の販売力が低下する可能性があります。

従って、これらの要因が当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

② 財政状態・経営成績等について

イ 仕入原価の変動について

当社グループの商品及び生地仕入については、直接及び間接の輸入による割合が大きく、その主な輸入先は中国及びイタリアとなっております。直接輸入取引については大部分が米ドル建て、間接輸入取引についてはすべて円建てで行っており、米ドル建ての場合は当社グループにおいて発注の都度為替予約を行い、為替相場変動の影響の軽減に努めております。しかし中長期的には、外国通貨の為替レートに変化が発生した場合には仕入原価が変動する可能性があります。

また、主な輸入先である中国その他の生産国において、人件費や諸経費等が高騰した場合にも、商品の仕入原価が上昇する可能性があります。

従って、これらの要因が当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

ロ 業績の季節変動について

当社グループの営む紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業は、事業の性質上売上高に季節的要因があり、第1四半期及び第3四半期に比し、第2四半期及び第4四半期の売上高の割合が低くなります。また、当社グループは、第2四半期末及び第4四半期末において、社内規程に基づいて棚卸資産の評価損を売上原価に計上しております。これらのことから、各四半期の経営成績は大きく変動する可能性があります。

ハ 景気・季節的要因について

当社グループの営む紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業は、国内外の景気や消費動向、冷夏や暖冬といった天候不順によって、売上高に影響を受ける可能性があります。従って、これらの要因が当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

ニ 減損損失について

当社グループは、「固定資産の減損に係る会計基準」を適用しており、当連結会計年度において22百万円の減損損失を計上しております。今後も事業環境の変化によって各資産グループの損益状況が悪化した場合において、減損損失を計上する可能性があります。従って、この要因が当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

③ 特有の法的規制等について

個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）の影響について

当社グループは会員組織「オンリーメンバーズ」の運営に加えて、オーダースーツの注文の都度お客様の個人情報の記載された注文書を入手しているため、多くの個人情報を保有しております。これらの情報の取扱いについては、情報管理者を選任し、個人情報保護方針等を公表し、その運用のための管理体制を整える等、個人情報の外部漏洩に関しては細心の注意を払っております。

しかしながら、万一外部漏洩事件が発生した場合は、社会的信用問題及び賠償問題等が、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

④ 災害等による影響について

当社グループの営業拠点は、その多くが京阪神地域及び首都圏に集中しております。従って、もしこれらの地域において大規模な地震・風水害等の自然災害やテロ行為が発生した場合、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準については日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,810,737	2,919,622
売掛金	271,328	159,395
商品及び製品	1,181,460	1,251,450
仕掛品	4,784	4,627
原材料及び貯蔵品	338,712	264,921
その他	154,062	301,192
流動資産合計	3,761,086	4,901,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,496,434	1,614,734
減価償却累計額	△775,248	△890,485
建物及び構築物 (純額)	721,185	724,248
工具、器具及び備品	677,305	688,799
減価償却累計額	△570,372	△619,596
工具、器具及び備品 (純額)	106,933	69,203
土地	266,724	495,964
その他	26,639	33,116
減価償却累計額	△17,356	△20,078
その他 (純額)	9,282	13,038
有形固定資産合計	1,104,126	1,302,455
無形固定資産		
投資その他の資産	51,049	50,903
繰延税金資産	160,636	153,111
差入保証金	849,332	809,867
投資不動産	2,530,595	2,530,595
減価償却累計額	△167,831	△202,593
投資不動産 (純額)	2,362,764	2,328,001
その他	34,164	26,977
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	3,396,897	3,307,956
固定資産合計	4,552,073	4,661,315
資産合計	8,313,159	9,562,525



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	285,699	86,478
1年内返済予定の長期借入金	3,353	672,000
未払法人税等	107,244	—
ポイント引当金	66,772	37,232
資産除去債務	5,589	8,403
その他	478,630	290,581
流動負債合計	947,288	1,094,697
固定負債		
長期借入金	—	1,138,000
長期末払金	137,913	134,150
退職給付に係る負債	89,957	95,343
資産除去債務	197,623	209,617
その他	146,392	146,392
固定負債合計	571,887	1,723,504
負債合計	1,519,175	2,818,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,850	1,079,850
資本剰余金	1,212,204	1,212,204
利益剰余金	4,893,979	4,844,319
自己株式	△392,050	△392,050
株主資本合計	6,793,983	6,744,323
純資産合計	6,793,983	6,744,323
負債純資産合計	8,313,159	9,562,525

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	7,242,540	5,348,221
売上原価	2,754,795	2,132,834
売上総利益	4,487,745	3,215,387
販売費及び一般管理費	3,845,184	3,185,186
営業利益	642,560	30,200
営業外収益		
受取利息	4	4
受取賃貸料	213,657	248,692
その他	2,224	2,276
営業外収益合計	215,886	250,973
営業外費用		
支払利息	131	2,640
賃貸収入原価	63,169	56,529
その他	400	640
営業外費用合計	63,701	59,810
経常利益	794,745	221,363
特別利益		
臨時休業等による収入	—	163,526
特別利益合計	—	163,526
特別損失		
固定資産除却損	3,000	1,399
減損損失	22,710	22,652
臨時休業等による損失	—	184,180
特別損失合計	25,710	208,232
税金等調整前当期純利益	769,034	176,658
法人税、住民税及び事業税	243,305	67,919
法人税等調整額	25,059	7,525
法人税等合計	268,364	75,444
当期純利益	500,669	101,214
親会社株主に帰属する当期純利益	500,669	101,214

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
当期純利益	500,669	101,214
包括利益	500,669	101,214
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	500,669	101,214
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	1,079,850	1,212,204	4,563,652	△392,049	6,463,657	6,463,657
当期変動額						
剰余金の配当			△170,342		△170,342	△170,342
親会社株主に帰属する当期純利益			500,669		500,669	500,669
自己株式の取得				△0	△0	△0
当期変動額合計	-	-	330,327	△0	330,326	330,326
当期末残高	1,079,850	1,212,204	4,893,979	△392,050	6,793,983	6,793,983

当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	1,079,850	1,212,204	4,893,979	△392,050	6,793,983	6,793,983
当期変動額						
剰余金の配当			△150,874		△150,874	△150,874
親会社株主に帰属する当期純利益			101,214		101,214	101,214
自己株式の取得						
当期変動額合計	-	-	△49,660	-	△49,660	△49,660
当期末残高	1,079,850	1,212,204	4,844,319	△392,050	6,744,323	6,744,323

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	769,034	176,658
減価償却費	284,817	272,455
減損損失	22,710	22,652
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△10,348	△29,539
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,512	5,386
受取利息及び受取配当金	△4	△4
受取賃貸料	△213,657	△248,692
支払利息	131	2,640
為替差損益 (△は益)	0	△0
固定資産除却損	3,000	1,399
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,719	111,933
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△156,629	3,958
仕入債務の増減額 (△は減少)	209,101	△199,220
未払金の増減額 (△は減少)	45,330	△84,359
前受金の増減額 (△は減少)	△18,556	△73,846
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△3,762
その他	24,322	△109,849
小計	962,045	△152,190
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△115	△2,915
法人税等の支払額	△348,683	△215,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	613,251	△370,909
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△248,803	△410,176
長期前払費用に係る支出	△185	△932
差入保証金の差入による支出	△54,144	△33,046
差入保証金の回収による収入	35,442	49,306
投資不動産の賃貸による収入	218,678	280,975
預り保証金の受入による収入	55,792	—
その他	△64,373	△62,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,593	△176,355
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△39,996	△193,353
配当金の支払額	△169,835	△150,497
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209,832	1,656,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	345,825	1,108,885
現金及び現金同等物の期首残高	1,464,912	1,810,737
現金及び現金同等物の期末残高	1,810,737	2,919,622

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、経済、企業活動への深刻な影響が見込まれております。当社グループにおきましても、今後も当社グループの業績に影響が及ぶことが想定され、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しは不透明な状況にあります。

当社グループでは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響は、2021年8月期末に向けて徐々に収束し回復に向かい、2021年9月以降は例年並の売上高が見込まれることを前提としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは、紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)		当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	
1株当たり純資産額	1,395円95銭	1株当たり純資産額	1,395円64銭
1株当たり当期純利益	102円87銭	1株当たり当期純利益	20円81銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	500,669	101,214
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	500,669	101,214
普通株式の期中平均株式数 (株)	4,866,918	4,864,264

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当事業年度 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,313,907	2,630,501
売掛金	225,156	125,426
商品	915,369	920,919
原材料	88,132	59,663
前渡金	10,195	27,357
前払費用	13,338	13,702
未収入金	150,314	177,765
その他	2,375	80,891
流動資産合計	2,718,789	4,036,228
固定資産		
有形固定資産		
建物	680,219	627,423
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	102,846	60,522
土地	266,724	372,370
有形固定資産合計	1,049,790	1,060,315
無形固定資産		
商標権	198	103
ソフトウェア	48,156	50,556
ソフトウェア仮勘定	2,200	—
無形固定資産合計	50,555	50,659
投資その他の資産		
関係会社株式	22,298	22,298
出資金	4,520	4,520
関係会社長期貸付金	—	64,500
長期前払費用	19,644	11,710
繰延税金資産	137,389	130,545
差入保証金	849,332	809,867
投資不動産	2,362,764	2,328,001
その他	10,000	10,000
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	3,395,948	3,371,443
固定資産合計	4,496,294	4,482,418
資産合計	7,215,084	8,518,647



(単位：千円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当事業年度 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	282,131	98,430
1年内返済予定の長期借入金	3,353	672,000
未払金	154,071	78,766
未払費用	93,455	71,954
未払法人税等	64,442	—
前受金	147,589	73,613
ポイント引当金	57,790	30,119
資産除去債務	5,589	8,403
その他	35,519	27,948
流動負債合計	843,942	1,061,236
固定負債		
長期借入金	—	1,138,000
退職給付引当金	74,567	80,634
長期末払金	133,132	132,295
資産除去債務	185,595	176,801
その他	146,392	146,392
固定負債合計	539,688	1,674,123
負債合計	1,383,630	2,735,360
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,079,850	1,079,850
資本剰余金		
資本準備金	1,186,500	1,186,500
その他資本剰余金	25,704	25,704
資本剰余金合計	1,212,204	1,212,204
利益剰余金		
利益準備金	4,000	4,000
その他利益剰余金		
別途積立金	38,300	38,300
繰越利益剰余金	3,889,150	3,840,983
利益剰余金合計	3,931,450	3,883,283
自己株式	△392,050	△392,050
株主資本合計	5,831,454	5,783,286
純資産合計	5,831,454	5,783,286
負債純資産合計	7,215,084	8,518,647

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	6,147,015	4,423,691
売上原価		
商品期首たな卸高	870,310	915,369
当期商品仕入高	2,553,544	1,872,697
合計	3,423,855	2,788,066
商品期末たな卸高	915,369	920,919
商品売上原価	2,508,486	1,867,146
売上総利益	3,638,528	2,556,544
販売費及び一般管理費	3,295,722	2,624,881
営業利益	342,806	△68,337
営業外収益		
受取利息	0	189
受取配当金	38,680	49,540
受取手数料	45,740	19,456
受取賃貸料	230,396	263,602
その他	1,270	1,581
営業外収益合計	316,087	334,369
営業外費用		
支払利息	131	2,640
為替差損	—	1
賃貸収入原価	77,199	67,835
その他	75	55
営業外費用合計	77,406	70,532
経常利益	581,487	195,500
特別利益		
臨時休業等による収入	—	136,380
特別利益合計	—	136,380
特別損失		
固定資産除却損	3,000	1,399
減損損失	22,710	22,652
臨時休業等による損失	—	151,237
特別損失合計	25,710	175,289
税引前当期純利益	555,776	156,591
法人税、住民税及び事業税	162,108	47,040
法人税等調整額	19,819	6,843
法人税等合計	181,928	53,883
当期純利益	373,847	102,707

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	1,079,850	1,186,500	25,704	1,212,204	4,000	38,300	3,685,644	3,727,944	△392,049	5,627,949
当期変動額										
剰余金の配当							△170,342	△170,342		△170,342
当期純利益							373,847	373,847		373,847
自己株式の取得									△0	△0
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	203,505	203,505	△0	203,504
当期末残高	1,079,850	1,186,500	25,704	1,212,204	4,000	38,300	3,889,150	3,931,450	△392,050	5,831,454

	純資産合計
当期首残高	5,627,949
当期変動額	
剰余金の配当	△170,342
当期純利益	373,847
自己株式の取得	△0
当期変動額合計	203,504
当期末残高	5,831,454

当事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余 金合計		
						別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	1,079,850	1,186,500	25,704	1,212,204	4,000	38,300	3,889,150	3,931,450	△392,050	5,831,454
当期変動額										
剰余金の 配当							△150,874	△150,874		△150,874
当期純利益							102,707	102,707		102,707
自己株式 の取得										
当期変動額 合計	—	—	—	—	—	—	△48,167	△48,167	—	△48,167
当期末残高	1,079,850	1,186,500	25,704	1,212,204	4,000	38,300	3,840,983	3,883,283	△392,050	5,783,286

	純資産合計
当期首残高	5,831,454
当期変動額	
剰余金の 配当	△150,874
当期純利益	102,707
自己株式 の取得	
当期変動額 合計	△48,167
当期末残高	5,783,286

(4) 個別財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、経済、企業活動への深刻な影響が見込まれております。当社におきましても、今後も当社の業績に影響が及ぶことが想定され、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しは不透明な状況にあります。

当社では、固定資産の減損会計等の会計上の見積りにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響は、2021年8月期末に向けて徐々に収束し回復に向かい、2021年9月以降は例年並の売上高が見込まれることを前提としております。

5. その他

該当事項はありません。

以 上